

桜 島

○火山活動度レベル

期間中の火山活動度レベルは 2（比較的静穏な噴火活動）でした。

概 況

桜島南岳の噴火活動は比較的静穏で、爆発的噴火（以下爆発と略す）が 1 回あったのみでした。火山性地震は 5 月よりも増えましたが、総じて少ない状態で経過しました。

噴火活動の状況

噴火活動は、20 日に爆発が 1 回発生しました。爆発音の強度は小でしたが、台風接近による強風と雲のため、噴煙、体感空振、噴石とも不明でした。

表 1 爆発音の強度

強度	小	中	大
爆発音	注意深くしていると聞こえる程度	誰にでも聞こえる程度	非常に大きく聞こえる程度

鹿児島市東郡元町での観測結果です。

噴煙活動の状況

20 日の爆発では、噴煙は確認できませんでした。このほか、桜島で噴火と計数している規模の噴煙には至らないものの、火山灰を含む灰白色の噴煙が時折あがりました。

地震・微動活動の状況

震動観測点 B 点（南岳火口の北西約 2.3km）での火山性地震の月回数は、246 回（5 月：216 回）でした。このうち A 型地震は 11 回（5 月：15 回）で、先月よりやや少なくなりましたが、B 型地震は 234 回（5 月：196 回）で、先月よりもやや増えました（図 1 の ）。震源が求まった A 型地震は 5 個で、南岳火口周辺に分布しました（図 3）。

火山性微動は 24 日に 6 回発生したのをはじめ、下旬で 15 回（月合計では 16 回、5 月：10 回）発生しました。微動出現時間の月合計は 0.4 時間でした（図 1 の ）。

降灰の状況

鹿児島地方气象台（南岳の西南西約 11km）の観測では、6 月の降灰量は $12\text{g}/\text{m}^2$ （5 月： $1\text{g}/\text{m}^2$ ）で、降灰日数は 8 日でした（図 2 の ）。

地殻変動活動の状況

GPS による地殻変動観測では、黒神 - 野尻、黒神 - 藤野、藤野 - 野尻の各観測点間の基線長に火山活動に起因する変化は見られませんでした（図 4）。

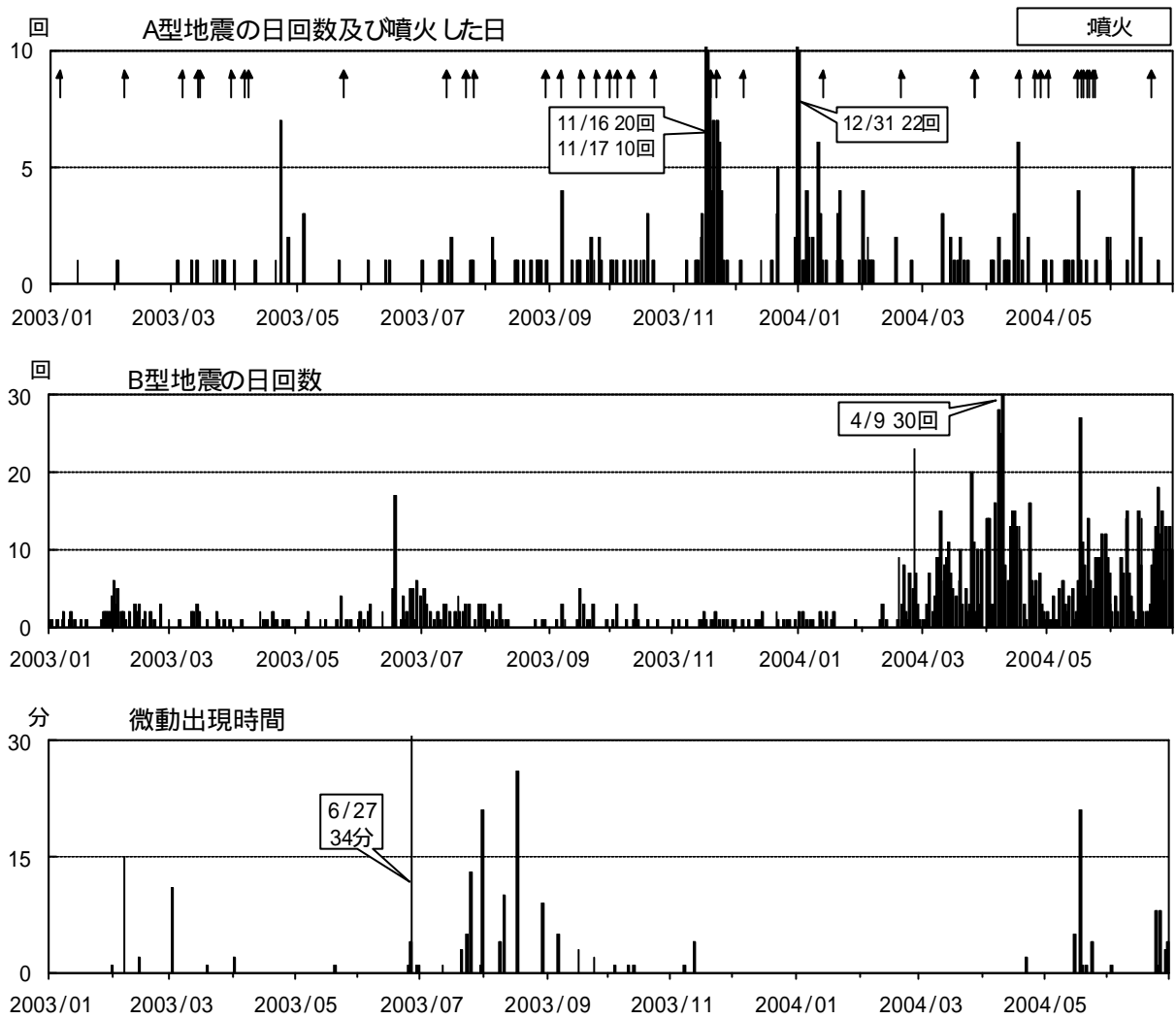


図 1 火山活動経過図（2003 年 1 月～2004 年 6 月）

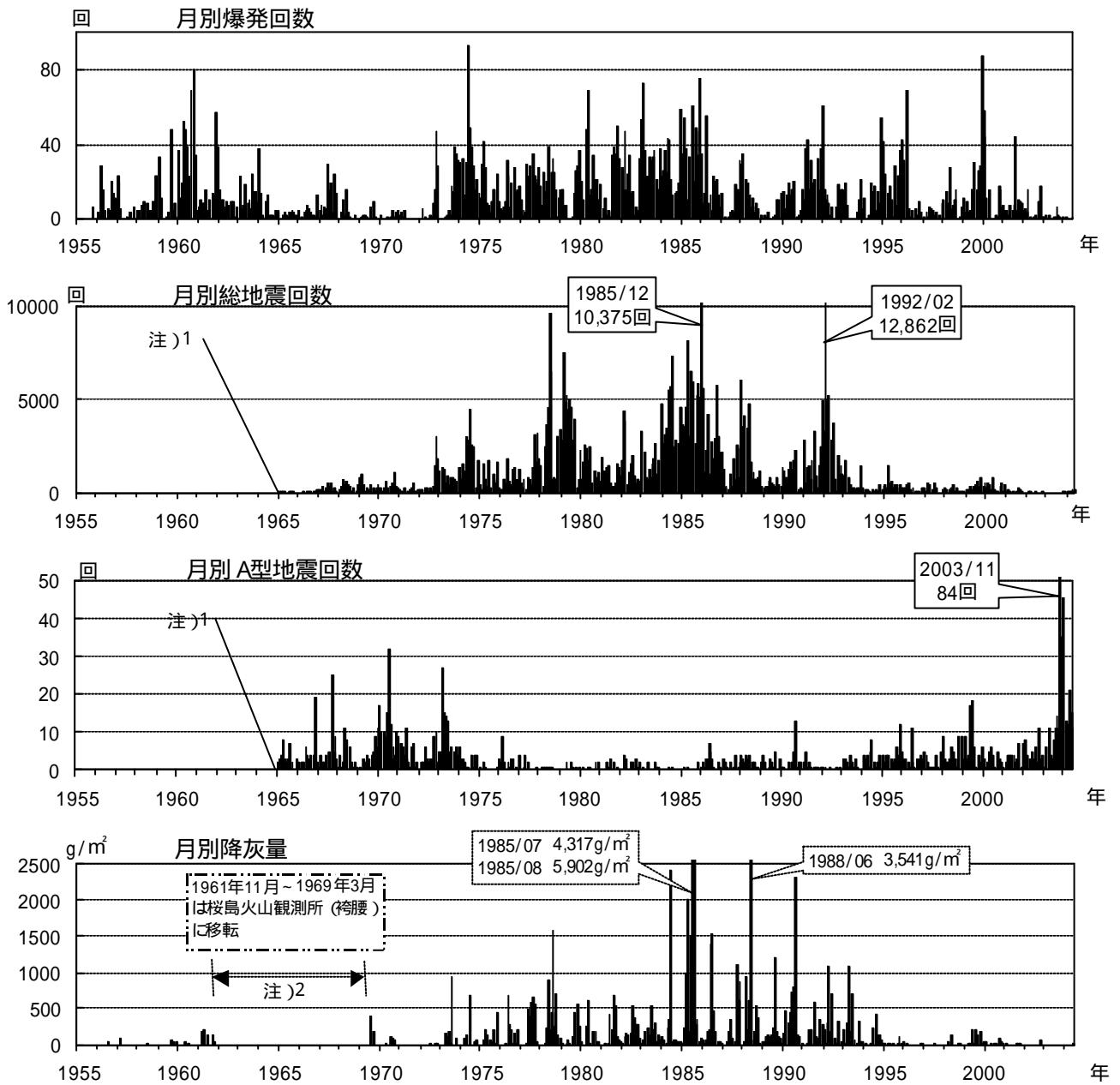


図2 火山活動経過図（1955年1月～2004年6月）

注)1：震動観測点A点における総地震回数およびA型地震回数は、1965年からのデータをグラフに示した。

注)2：気象台での降灰量の観測は1994年2月24日までは鹿児島市荒田1丁目、同年2月25日以降は同市東郡元町において行なわれた。なお、1961年11月から1969年3月までは桜島に観測所を移転したため降灰量の統計は中断した。

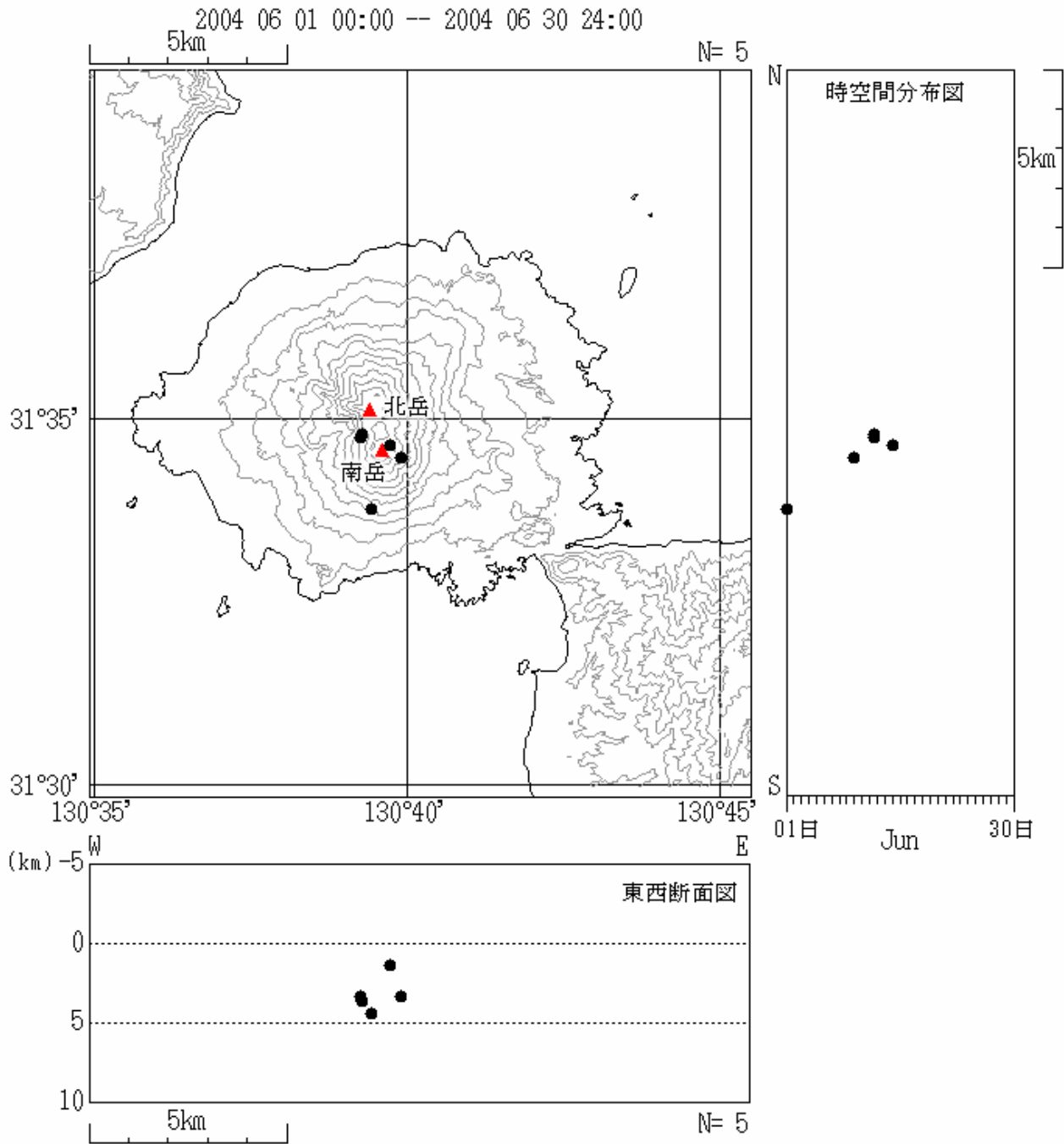


図3 震央分布図（上）と断面図（下）、時空間分布図（右）
（2004年6月1日～6月30日）

本資料は、鹿児島大学、気象庁のデータを用いて作成している。

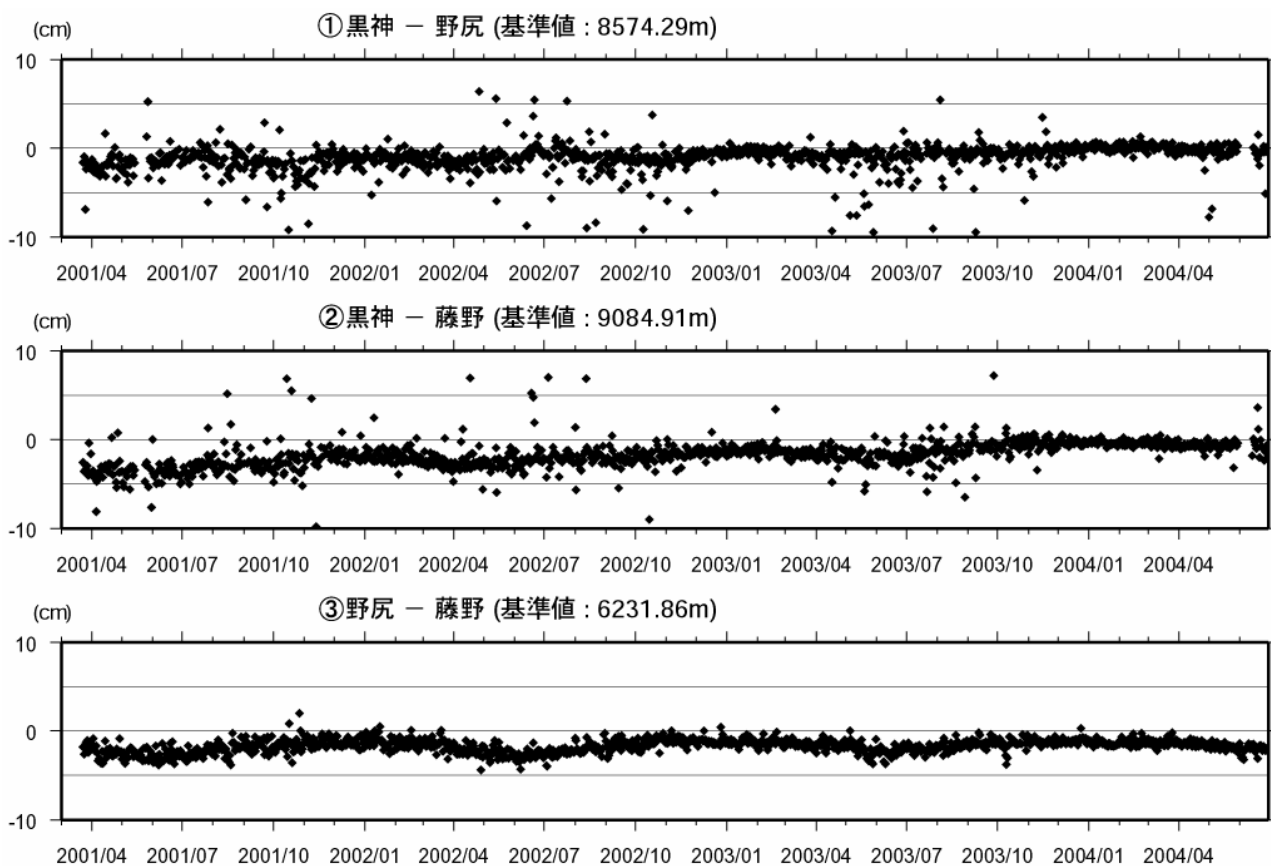


図4 GPSによる基線長変化(2001年3月22日~2004年6月30日)

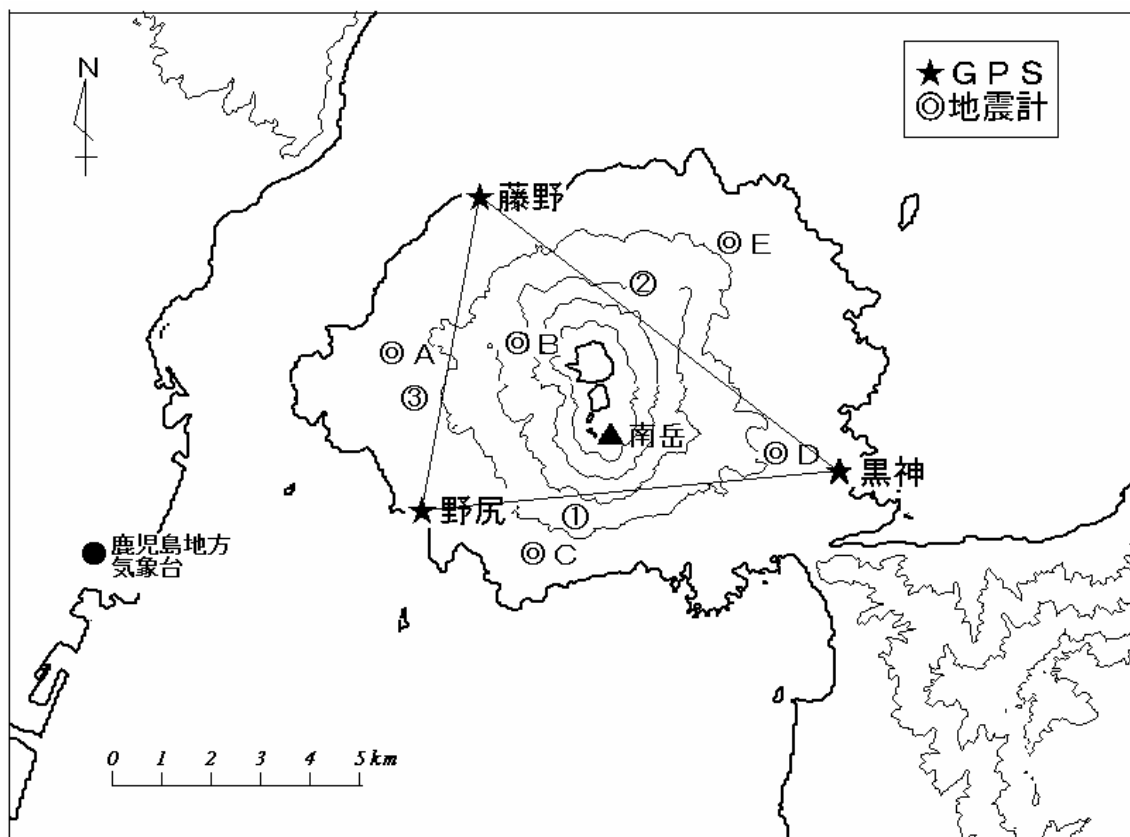


図5 観測点位置図